

鹿児島県のバス 2023年9月報

■ 水害とバス

発行者：バスフォーラム鹿児島 執印友之

平成5（1993）年は全国的に異常気象となり、冷夏に伴う米不足から、タイ米を輸入するという、近年発生したことの無い食糧不足が現実となった年です。鹿児島では、いったん出された梅雨明けの発表が撤回され、8月になっても雨が降り続けていました。

鹿児島市内では、8.6（ハチロク）水害②として語られることが多いこの年の水害は、直前の8月1日に発生した始良、霧島地区の豪雨災害①や、その後の台風による浸水被害、9月3日の金峰町扇山の地滑り災害、9月20日の日吉町毘沙門の地滑り災害③など、死者が発生する深刻な被害をもたらしました。

また、平成18（2006）年7月鹿児島県北部豪雨災害④では、7月22日に川内川の氾濫が発生し、宮之城町虎居の商店街で、住民を自衛隊がボートで救出する様子が全国に報道されました。川内川流域でとくに大きな被害が発生しましたが、出水市の米ノ津川も氾濫し、市街地で浸水被害が出ています。この水害に伴う南国交通の被害状況は、鹿児島県がまとめた「平成18年7月鹿児島県北部豪雨災害」被害の概要と対応の記録に詳しく掲載されています。

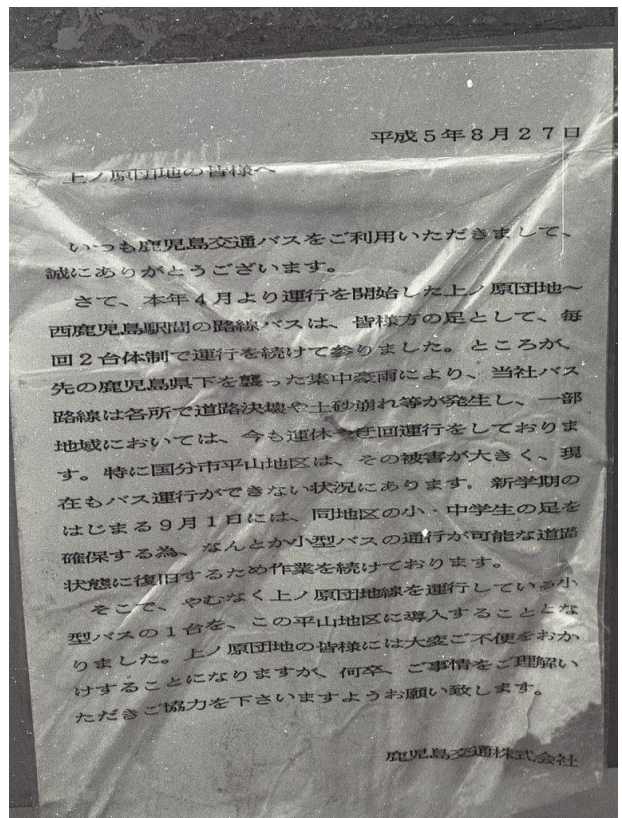
①8.1水害の影響

- 九州道桜島SA上り線の裏山が崩壊。建物全壊、駐車場は土砂埋没。SAが長期間使用不可
- 九州道沿線の法面が複数箇所崩壊。鹿児島～溝辺鹿児島空港間で通行止め。鹿児島市街地から鹿児島空港へのアクセスは、実質国道10号のみ。空港連絡バスは、国道10号経由で迂回

- 始良インター近くの城瀬橋が流出。重富～蒲生間のバスは森山経由で迂回（写真下）



- 都迫～桑の丸間の県道が路盤流出や法面崩壊で通行止め。バスは運休。
- 日当山橋が流出。松永岐れ～日当山小北間のバスは西光寺経由で迂回
- 鹿児島交通渡瀬線道路通行止めに伴う、平山小学校通学バス迂回運行のため、検校橋車庫で小型バスに乗り換え。小型バスは、





上之原団地線に運用中のキャラバン2台中の1台を使用。(写真上)

- ・天降川に架かる国道10号新川橋の橋脚が流出通行止め。バスは、野口経由で迂回運行。本便が走らない福島・西山地区に、臨時循環バス運行。(写真下)

- ・肥薩線隼人～吉松間不通、代行バス（JRバス）（写真下・4ページ右上）



- ・日豊本線国分～大隅大川原間不通、代行バス（民間バス及びJRバス）一部西都城まで代行バス。

②8.6水害の影響

- ・甲突川が氾濫。国道3号を走行中の大阪行き高速バスほか一般路線バスが実車中に被災。サザンクロス号（22き281）は廃車。(写真下)

- ・国道3号河頭付近で法面崩壊、塚田付近で路盤決壊。塚田橋通行止め。伊敷団地入口～小山田間で通行止め。バスは、千

国分市福島循環線 予定時刻表

種別	国分営	日当山	市役所	福島	西山	西広瀬	自衛隊	福島	市役所	日当山	国分営
▶	8:30	8:34	8:40	8:41	8:43	8:44	8:48	8:48	8:48	8:48	8:48
10:20	10:32	10:44	10:48	10:54	10:55	10:57	10:58	11:02	11:14	11:26	11:26
11:50	11:59	12:03	12:09	12:10	12:12	12:13	12:17	12:17	12:17	12:17	12:26
13:40	13:52	14:04	14:08	14:14	14:15	14:17	14:18	14:22	14:34	14:46	14:46
15:20	15:29	15:33	15:39	15:40	15:42	15:43	15:47	15:47	15:47	15:47	15:56
▶	17:30	17:39	17:43	17:49	17:50	17:52	17:53	17:57	17:57	17:57	18:06

※印・日祝運休
6分
2分 1分 1分 この間無停車 1分 1分 1分 1分 1分 1分 2分
国分市役所 正福寺前 有下 福島 西山 西広瀬 大野原 自衛隊 福島 有下 正福寺前 国分市役所
～ 途中の交通事情により遅れることもございます。～
◎ 10月4日より運行 新川橋復旧までの間
林田産業交通 国分営業所 電話 45-6733



- ・硫黄谷～林田温泉間で通行止め。丸尾方面からのバスは、硫黄谷で折り返し運行（後に町道経由で迂回運行）。林田産業交通（株）が所有していた霧島周辺の道路が各地で被災し、復旧のため、自治体へ所有権を無償譲渡。

年団地、花野団地経由で迂回運行。塚田付近の決壊は復旧に時間を要し、河頭付近開通後も郡山経由で迂回運行が継続。川内～鹿児島間のバスは、通勤通学時間帯のみ伊作峠経由で運行。その他、川内側からは土





橋入口で折り返し運行。（写真上・下・8ページ下）

- ・国道10号花倉で法面崩壊。林田バス（22か675）が巻き込まれて海へ落ちかかる。
- ・国道10号竜ヶ水付近で土石流複数発生。磯～重富間で通行止。水害翌日の空港連絡バスは、伊作峠、入来峠経由で運行。また、高速船きんこうを鹿児島本港～加治木港間で臨時運行。空港連絡臨時バスを、空港～加治木港間で運行。その後、通行止継続中の九州道始良～薩摩吉田間を国道10号の代替道路として無料開放。ただし、法面崩壊のため、上り線を使用しての暫定対面通行。国道10号系統の路線バスは、高速道経由で迂回運行。

- ・郡山町岳、岳バス停近くの神之川に架かる橋が流出。バスは、里岳経由で迂回運行。
- ・東市来町仙名付近で路盤決壊。林田バスの鹿児島～宮之城間のバスが運休。1往復のみ、宮之城～指月ハイツ間で折返し運行。（写真4ページ右下）
- ・東市来町の石橋、鉾前田橋が流出。鉾之原経由の林田バスが運休。（写真下）





- ・鹿児島本線西鹿児島～川内間不通、代行バス（JRバス）（写真上）
- ・甲突川河川改修（激特事業）による、西田橋架け替え工事に伴い、市営バス2番線、23番線を黄金通経由で迂回運行。

③ 毘沙門の地滑り災害の影響

- ・上日置～扇尾校前間道路通行止めに伴い、鹿児島交通の伊集院～扇尾校前～永吉麓間の系統が迂回運行。

林田バス 入来駅 停留所通過予定時刻表

種別	時刻	経路	行先	種別	時刻	経路	行先
		(市比野・上川内方面)				(上植勝・白浜・上川内)	
○	6.52	市比野	上川内	○	7.23	市比野	上川内
○	7.25	市比野	"		9.12	"	"
	8.12	市比野	"		13.22	"	"
	9.35	"	"	○	15.02	"	"
	10.15	"	"		16.27	"	"
	11.39	"	"		17.52	"	"
	12.30	"	"				
	13.30	"	"				
	15.00	市比野	"		7.50	市比野	鹿児島
	15.50	"	"		9.00	"	"
	17.25	"	"				
	18.30	"	"				
						(広橋・永野・上川内)	
					8.00	"	上川内
					8.33	"	"
					16.24	"	永野金山

お知らせ
入来駅 停留所 一方通行

毎週林田バスを拝見の機会に伺っております。大変ご迷惑をおかけいたします。此の度、其中、扇尾校前～上日置、小山田～先、名越が道路の陥没で便通が困難に陥つたため、当面の間下記の時刻を運休または迂回運行致します。御了承下さい。

現行	改正
時刻	時刻
7.50 鹿児島運休	8.22 市比野 迂回運行
9.00 "	"

林田バス 川内(密) 23-3181

④北部豪雨災害の影響

- 川内川の急激な水位上昇のため、南国交通宮之城営業所内のバス6台の避難が間に合わず、屋根まで水没。経年車の廃車延期や鹿児島営業所の予備車を集めて運行再開。6台は修理後運用復帰。（写真下）



- 宮之城を運行中のエアポートシャトル1台（22き669）が立ち往生となり廃車。
- 下名入口付近法面崩壊のため、菱刈役場前～南重留間国道268号へ迂回

■最近のバス関連の話題から 10月から鹿児島市営バス運賃改定

鹿児島市交通局は、令和5（2023）年6月22日、九州運輸局長に対して、当局が運行する路線バス等（以下「市バス」という。）の運賃改定申請を行いました。運賃改定予定日は、23年10月1日を予定しております。

1 申請の理由

鹿児島市交通局では、バス事業の厳しい収支状況を踏まえて、競合路線の民間事業者への一部移譲など、事業の抜本の見直しを着実に推進しながら、電車事業と合わせての収支均衡を見込んでおりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、市電・市バスの利用者数は大幅に減少し、さらに、新しい生活様式など社会に大きな変革をもたらし、公共交通の利用に関する考え方も変化してきております。

この度の23年10月からの改定は、新たな社会に即した事業の見直しを進めながら、減収

等も踏まえた中で、収支均衡による持続可能な経営基盤の確立を図るためのもので、バス運賃収入の13%増を見込んでおります。

また、現行の複雑な運賃体系は、分かりにくく、新たなサービスを検討する上でもシステム開発コスト増大の要因となっております。

そこで、現行のIC乗車カード「ラピカ」において、最小限の費用で見直しが可能な範囲で、利用者にとって分かりやすい運賃体系とし、かつ、新サービス等の開発コストも抑えるため「均一制運賃」を導入し、その上限運賃を230円とすることといたしました。

本改定に併せて、市電・市バスを乗り継いだ場合も、基本的に上限運賃である230円で目的地に移動できるよう、乗継割引を拡充するほか、市バスの定期券で市バス全路線と市電の全系統が乗降可能となる「全線定期券」を発売いたします。

これらのサービス向上により、これまで以上にご利用頂きやすい市電・市バスを目指してまいります。

2 申請概要

- 申請日23年6月22日
- 運賃改定実施予定日23年10月1日
- 改定内容

市バスの現行運賃制定形態である特殊区間制、対キロ区間制の併用を廃止し、均一制に改めるとともに、その上限運賃額を230円に改めるもの。

- （現行）特殊区間制（大人190円、220円、250円）対キロ区間制（大人120円～520円）
- （改定後）均一制（大人230円、小人120円）

3 特殊料金の改定

- シティビュー夜景コース一日乗車券
（現行）大人200円小人100円
（改定後）大人250円小人130円
- ※その他の特殊料金に改定はございません。

4 サービス向上策

(1) 定期乗車券

市バス定期乗車券を、当局が運行する電車（以下「市電」という。）も含めて全線乗降可能な全線定期券に変更いたします。

主な定期乗車券の金額は以下の通りです。

通勤（大人） 1 か月9,660円

※片道定期券は上記金額の半額となり、従来通り区間指定が必要となります。

(2) 乗継割引の改定

本市ほかが発行する、IC乗車カード「ラピカ」の乗継割引を、市電と市バス、市バスと市バスを一時間以内に乗り継いだ場合、運賃の合計額が230円となるよう拡充いたします。

（現行）割引額電車⇄バス大人60円バス⇄バス乗車料合計額の5%相当額

（改定後）割引額電車⇄バス大人170円バス⇄バス大人230円

※ただし、直前の乗車で乗継割引が適用された場合等は、その次の乗車が一時間以内であっても乗継割引は適用されません。

「あいばす」ポイントラリーを開催

コミュニティバス「あいばす」の認知度向上と利用促進を図るために、夏休み期間中に「あいばす」を利用し、ポイント券を集めて応募した方を対象に、抽選で賞品を進呈するポイントラリーを初開催します。

ポイント券配布期間：23年7月24日（月曜日）から8月31日（木曜日）

ポイント券配布場所：あいばす車内（1回の乗車につきポイント券を1人1枚配布）

対象地域：あいばすを運行中の全11地域

対象者：年齢や居住地などに関係なく、どなたでも参加可能

応募方法：あいばす車内に吊り下げる専用応募用紙に、集めたポイント券を貼り付けて、同じく車内に設置する専用回収ボックスへの投函又は交通政策課への郵送により応募

（ポイント券4枚1口で応募可）

郵送先：〒892-8677

鹿児島市山下町11番1号本館3階

鹿児島市役所交通政策課

応募期限：23年9月8日（金曜日）

車内の専用回収ボックスは同日の最終便まで設置、郵送の場合は上記期限必着

賞品：市電・市バス・桜島フェリー乗り放題パス「CUTE（キュート）」や本市特産品など

お問い合わせ

企画財政局企画部交通政策課

〒892-8677鹿児島市山下町11-1

電話番号：099-216-1113

ファクス：099-216-1108

鹿児島交通深夜バス運行再開

平素より、鹿児島交通をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が第5類になり、人の移動も活発になってきました。鹿児島交通としては乗務員不足ということもあり、20時台で最終便という形で運行を行ってまいりましたが、その後の時間帯の利用客からの問い合わせが多く、非常にご不便をかけているという認識のもと、最終便を金生町発23：00を2方面に1便ずつ運行させることにいたしました。乗務員の少ない中ではございますが、少しでも利用客のお役に立てるように頑張っていく次第でございます。

運行開始日： 23年8月11日～当面の間

運行日： 毎週金曜日・土曜日

運賃： 割増運賃

※運賃は現金およびICカードのみ対応。

（定期券使用不可）

【運行路線】

- ① 金生町→天文館→騎射場→郡元→脇田→谷山駅→影原
- ② 金生町→天文館→鹿児島中央駅→紫原→桜ヶ丘→星ヶ峯

※②については「附属小前」バス停以降は降車のみとなります。

深夜バス運行時における車両故障及び事故時の対応について

深夜バスの運行にあたり、走行時の車両故障及び事故時につきましては、深夜時間の運行及び、乗務員不足に伴い、代務乗務員が待機していない関係上、代車の手配が出来ません。

車両故障及び事故等が起こった場合は、現地にて下車をお願いし、その後の代替手段につきましては、お客様に対応していただきますので、あらかじめご了承ください。

県立10高校の通学バス廃止・減便を検討 鹿児島交通、本年度 運転手不足が影響「継続は困難」

鹿児島交通（鹿児島市）が本年度にも、県立高校10校で運行するスクールバスの廃止や路線バスの通学ダイヤ減便を検討していることが7日、南日本新聞の取材で分かった。一部には今月末の運行終了を打診しており、すでに下校便が減った学校もある。同社は、運転手不足と「24年問題」による勤務見直しで、継続が困難だとして各校に理解を求めている。

鹿児島交通が廃止や減便の方向で検討しているのは明桜館、武岡台、松陽、錦江湾、吹上、川辺、枕崎、加世田、加世田常潤、川内の10校。路線バス以外に公共交通での通学手段がない明桜館については、路線バス増便を検討した上で、来年度以降の運行を学校と協議するとしている。

取材によると川内高のスクールバスは宮之城線、祁答院線、入来・樋脇線、いちき串木野線の4路線で、全校生徒768人中143人（5月1日時点）が利用している。1学期までで廃止を打診されていたが、夏休み中の補習を考慮し7月末まで運行を延長されることにな

った。加世田高は、枕崎方面から約50人が利用するバスが1学期で打ち切りを打診され、協議を続けている。川辺高は加世田、枕崎の2路線で朝夕1便ずつ。加世田線を13人、枕崎線を25人が利用している。枕崎線は7月末まで、加世田線は12月で廃止となる。

通学ダイヤでは吹上高が、伊集院駅から約50人が利用する朝の1便が1学期までとなっている。加世田常潤高は、バスセンターと結んでいる便が、同じルートを走る加世田高の便に統合される。枕崎高は「一部の路線で減便されたが、影響はない」としている。

明桜館、松陽、錦江湾の3校では、4月から下校便2便のうち部活動終了後の便が廃止された。鹿児島交通は「路線バスを乗り継いで下校できる手段を確保した上での変更」としている。各校は事前に保護者、生徒に周知したという。

鹿児島交通によると、各校に対し運転手の不足や高齢化、24年度から運転手の拘束時間の上限が改正されることによる影響を説明。

「一事業者ではスクールバスの運行は厳しい」と訴えたという。

スクールバスや路線バスで県立高校に通学する生徒は全61校で約4,500人に上る。鹿児島交通は2月に県教委へ事情説明を行っており、紺屋宏昭高校教育課長は「今後、どのような代替案があるのか検討していきたい」と話している。

始良市コミュニティバス無料月間

R5. 8. 1～R5. 8. 31

【対象路線】

- ①ふるさとバス蒲生・春花線（東回り・西回り）
 - ②始良市3庁舎間巡回バス
 - ③加治木地区循環バス（東回り・西回り）
 - ④重富地区循環バス（重富駅・始良ニュータウン線）
- 蒲生地区巡回バス

- ⑤米丸・柊野線
- ⑥小川内・漆線
- ⑦西浦・火の宇都線
- ⑧小川内・西浦線
- ⑨くすの湯・久末線
- ⑩蒲生・山田・帖佐線

※対象路線は、市が委託運行している上記コミュニティバスに限ります。運行事業者が独自に運行している自主運行路線バスは該当しません。

バスに乗ろう！

始良市

コミュニティバス 限定

無料月間

R5.8.1 火 ~ R5.8.31 木


買い物に！
お出かけに！
始良市探検に！

【対象路線】

- ①ふるさとバス蒲生・春花線（東回り・西回り）
- ②始良市3庁舎間巡回バス
- ③加治木地区循環バス（東回り・西回り）
- ④重富地区循環バス（重富駅・始良ニュータウン線）
蒲生地区巡回バス

- ⑤米丸・柊野線
- ⑥小川内・漆線
- ⑦西浦・火の宇都線
- ⑧小川内・西浦線
- ⑨くすの湯・久末線
- ⑩蒲生・山田・帖佐線

時刻表・路線図
はコチラから



※対象路線は、市が委託運行している上記コミュニティバスに限ります。運行事業者が独自に運行している自主運行路線バスは該当しません。

■最近の新規登録・移籍車など



鹿児島200か2432/さつま交通観光



鹿児島200か2461/川内観光交通



鹿児島230い・22/福永交通

【参考ホームページ】

鹿児島県、始良市、鹿児島市、南日本新聞社、南国交通株式会社、いわさきコーポレーション株式会社、鹿児島市交通局

